

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○		○	○			○			○	○	

企業の概要

社名	昭和シェル石油株式会社	都道府県	東京都
業種	製造業	従業員数	722人
事業概要	石油事業・太陽電池事業・電力事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務制度
テレワーク担当部署	人事部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	1,056人(2016年～2018年の延べ人数)在宅勤務＋サテライト合計
実施日数	おおむね週1～2回

テレワークの導入・拡大の経緯

2008年に育児・介護事由の在宅勤務制度を導入し、2015年に一部改定を行った。その後社会情勢の変化(労働力不足)や社員のニーズの高まり(育児・介護事由に限った在宅勤務制度の場合、当該制度が特別なものに見えてしまう。全社員が在宅勤務制度を利用できた方が一層柔軟な働き方になるといった意見)を受けて、全社員向け在宅勤務制度の導入及び育児・介護事由の在宅勤務制度の拡充を実施した。

テレワークの概要・特徴

- 育児・介護を行う社員の在宅勤務制度
 - ・育児・介護事由のあるすべての社員(管理職を問わない)が対象
 - ・週2回、コアタイムなしのフレックスタイム(7時～22時)で勤務
 - ・半休や時間単位の看護・介護休暇との併用可
- 在宅勤務制度(全社員向け)
 - ・育児・介護事由のあるすべての社員(管理職を問わない)が対象
 - ・週1回、コアタイムありのフレックスタイムで勤務
 - ・半休との併用可
- サテライトオフィス勤務
 - ・全国にレンタルオフィスを展開する企業と契約をし、出張・移動時における隙間時間を有効に活用してもらう。
 - ・サテライトオフィス利用者はすべての社員であるが、利用のためには事前登録が必要。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 従業員意識調査のアンケートで制度面での満足度がアップした。(2017年12月時の「制度待遇」に対する満足感3.3⇒2018年6月時の「制度待遇」に対する満足感3.4: +0.1ポイント)
- 在宅勤務利用申請者が152名(全社員の19.7%)と高い割合で、柔軟な働き方への理解が高まった。
- 在宅勤務制度の利用者アンケートにおいて、課やチームの生産性が向上したという上司が48%であった。
- 在宅勤務制度の利用者アンケートにおいて、在宅勤務実施者自身も生産性が向上したという回答者が61%であった。